

◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

——ある若い女性が、現在の苦境を救ってもらうために三年間、初瀬観音に参拝したが効果が見られず、このまま効果がなければやめようと思ひ出発した最後の旅での出来事である。——

さて、夢の中に、僧のいみじく尊く、年たけ、徳至れりと見ゆるが、出で来たまひて、「あはれに思ふぞよ。恨めしくな思ひそよ。その後の方に臥したる女房の薄衣を、やをら取りて着て、早く起きて帰りね」

思つてはいけない。

と仰せらるるありけり。夢醒めて思ふやう、「あさましのわざや。」<sup>①</sup> 是てはは人のもの盗むほどの身の報

挙げ句の果ては

わが身の  
前世の報い

にてさへはべりけるよ。たとひ取りたりとても、衣一つはいくほどの事かははべるべき」とは思ひながら、

「さりとしては、やうこそはあるらめ。さばかり身をまかせて詣りはべらん甲斐には、たとひ見付けられて、<sup>②</sup>

まい  
参詣しますような御利益

5

いかなる恥を見るとても、それをだにも仏の奉公にこそはせめ」など思ひて、後の方を見るに、まことに、衣ひき着て寝ねたる女房あり。やをら引き落として取るに、さらなり、<sup>②</sup> 仏の御はからひなれば、なじかは人も知らむ。

さて、取りて着て、やがて出でにけり。胸うちつぶれて、わびしくも悲しけれども、念じ返して、初瀬川のほどまで出でにけり。<sup>③</sup>

# 語注

\*薄衣：身分のある女性が外出の時に、顔を覆うためにかぶった衣。

\*初瀬川：山門の前を流れる川。

問1 傍線部①とあるが、どのようなことを「あさまし」というのか。その説明として最も適当なものを次から選べ。

- ア 寝ている別の女房に恨みを晴らすために盗めと要求されたこと。
- イ 僧から仏の御利益を得るために盗みをするように命令されたこと。
- ウ 大胆に別の女房の衣を盗めと周囲の人々から命じられたこと。
- エ 夢の中で僧から別の女房の衣を盗むように指示されたこと。

問2 傍線部②の解釈として最も適当なものを次から選べ。

- ア 仏の判断で美しい服をもらうことができたとはかの人も気づくだろう。
- イ 服を取ったのは仏の命令であり、知っている人はいるだろうか。
- ウ 仏の配慮であるから、服を取ったなどとは、誰も気がつかないだろう。
- エ 私をあまりに哀れに思い、仏が服をくれたことを知った。

# 8 復習

## 「閑居友」

名前 年 組 番

正答数

11

検印

**文法Q** 傍線部①～⑤について、本文横の□を埋め、文法の説明を完成させよ。

**省略Q** 本文横の□に省略された語句を記せ。（本文中の語句で答えること。）

の 助詞

さて、夢の中に、僧のいみじく尊く、年たけ、徳至れりと見ゆるが、出で来たまひて、「あはれに思ふ

ぞよ。恨めしくな思ひそよ。その後の方に臥したる女房の薄衣を、やをら取りて着て、早く起きて帰りね」

の 助詞

と仰せらるるありけり。夢醒めて思ふやう、「あさましのわざや。はてはては人のもの盗むほどの身の報

にてさへはべりけるよ。たとひ取りたりとても、衣一つはいくほどの事かははべるべき」とは思ひながら、

の 助詞

「さりとは、やうこそはあるらめ。さばかり身をまかせて詣りはべらん甲斐には、たとひ見付けられて、

いかなる恥を見るとても、それをだにも仏の奉公にこそはせめ」など思ひて、後の方を見るに、まことに、

の 助詞

衣ひき着て寝ねたる女房あり。やをら引き落として取るに、さらなり、仏の御はからひなれば、なじか

目的語 を

は人も知らむ。

の 助詞

さて、取りて着て、やがて出でにけり。胸うちつぶれて、わびしくも悲しけれども、念じ返して、初

目的語 を

瀬川のほどまで出でにけり。

**単語Q** 波線部①～⑤の本文中での意味を答えよ。（活用する語は終止形の訳語でよい。）

☒ その他の覚えておきたい単語

なすそ…禁止

仰す…①命じる。②「言う」の尊敬語。おっしゃる。

さりとは…そうは言っても。そうだからと言って。

① ア  
② ウ  
③ エ  
④  
⑤

〃 〃 〃 〃